

小規模校の特長を活かした児童生徒の可能性を引き出す

個別最適な学びと協働的な学びの研究

豊富町 複式教育研究部会

1 研究主題

「小規模校の特長を活かした児童生徒の可能性を引き出す 個別最適な学びと協働的な学びの研究」

【資質・能力を育てる】

- ①資質・能力伸長の基盤は日常の「主体性（自己決定）」「興味関心（向学心）」「体（経）験」「チャレンジ精神」であると押さえる。
- ②教育課程に児童生徒一人一人の得意・特異能力を伸ばす機会を位置づける。
- ③教科授業で児童生徒一人一人の学び方に合わせた展開を工夫する。
- ④AI 教材を活用し、個別最適化した予習・復習・反復学習を継続して行う
- ⑤各教科で思考力を育成する。（各教科の見方・考え方の習得）
- ⑥道徳・総合・特別活動で「議論」を多く取り入れ思考力を育成する。
- ⑦生徒指導の機能を生かした授業を構築する。
- ⑧授業展開「兜沼スタンダード」を構築する。

2 多様性に富む本校児童生徒

2019年度から学校選択制の一つである「小規模特認校」となった本校には以来、町内外から様々な事情や目的で児童生徒が転入してくる。児童生徒数は18年5名だったが24年には21名となった。学力は、少人数であっても転入前の学校で特別支援学級だった子から能力の高い子も在籍しておりとても幅広い。前の学校で不登校気味だった子・発達障害疑いの子・都市圏の学校を目標としている子等々、実に多様性に富んでいる。このような児童生徒の実態から「個別最適な学び」

の実現は本校にとって避けて通れない課題である。

3 授業改革と教育課程の工夫

本校の課題解決のため、複式少人数小中併置の小規模校の特長を活かして、以下の実践に取り組んでいる。

〔授業改革として〕

- ① 「生徒指導の4つの機能を生かした授業」
目的：主体的な学び・協働的な学び
- ② 「効果的な間接指導(自由進度学習を含む)・ICT活用」
目的：主体的な学び・個別最適な学び
- ③ 「各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間での考える場面の設定」
目的：主体的な学び・思考力の育成
〔教育課程の工夫〕
- ④ 「個別探究学習」(レシカタイム)
目的：学びの意欲化・主体的な学び
- ⑤ 「プロジェクト型学習」
目的：主体的な学び・横断的な学習

4 今後の方向性

現在は上記の実践の成果と課題を明確にし、R7教育課程へ向け編成中である。これまでの実践を踏まえ、検証し、新たな形も含め、本校にとってより効果的な教育の在り方を確立していきたい。

